

～～第7679回～～

大和三山

～H27. 5. 23-24～

第1日沼津出発5:00奈良の大和は意外に近く、4時間半少々で橿原神宮の森を目の前に。近鉄橿原線畝傍御陵前駅9:50～10:00。畝傍山、本薬師寺跡、天香具山、耳成山を巡って耳成山公園に待機したワゴン車に乗り込んだのは15:20、宿の二鶴旅館に到着したのはまだ日の高い16時過ぎであった。大和三山は何れも標高200m未満、登り下りも30～40分足らず、山登りの楽しみは希薄である。“歴史的特別風土”のお陰で遊歩道やクスギやクスノ原生林にも手が入っているものの、天香具山を除けば祭神は不明。白鷺・田嶋が戯れる田中の細道、立派な門構と厚い塀をめぐる大きな家々、散在する古墳群の風情を愛でながらの三山詣こそ意味深いと思った。

第2日旅館発7:55昨日の天気予報に反して日が昇っている。昨夜の新調レインウェアお披露目の功德か、雨の心配は無さそうだ。登山口8:20～8:25。山の魅力は北尾根コースと聞かされたが、年相応、実力に相応しい櫛羅コースをとる。薄暗い植林の道10分ほどで空海ゆかりの櫛羅の滝分岐8:35～8:45。弘法大師ゆかりとあってこの水で灌頂すると認知症を防げるとか、脱帽して丁寧に滝水を振りかける向きもあった。登山道をさらに20分程で、役小角修行の場と伝えられる行者の滝分岐9:00～9:20。空身で滝を往復。年来の異常気象のためか崩壊箇所も少なからず、迂回路は懇切に拓かれているものの段々の急な登りが続く。若い女性たちにも、小学生(幼稚園児?)にも追い越される。傾斜が緩みブナ・ミズナラの広葉樹林に初夏の光が明るい。一言主神社を右に見送って、休憩所のビール、ソフトアイスに目もくれず直進、草付きの丘を辿って959mの山頂を踏む。葛城山頂11:00～11:30。高温続きのためか名物のヤマツツジは既に散り終えて風情乏しく、昨日歩いた大和三山・三輪山・そして大阪市街地が遠くボヤけていた。降路はロープウェイ利用、後期高齢者には有難い選択だった。ロープウェイ駐車場11:45～11:50。昼食後は一路沼津へ、沼津到着・解散16:25。参加者沼津支部9名  
(M4, F5) 沼津支部 S. S記